

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年12月27日(2007.12.27)

【公表番号】特表2007-512397(P2007-512397A)

【公表日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2007-018

【出願番号】特願2006-540019(P2006-540019)

【国際特許分類】

C 0 9 B 67/20 (2006.01)

C 0 9 B 67/52 (2006.01)

C 0 9 B 48/00 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

【F I】

C 0 9 B 67/20 C

C 0 9 B 67/20 H

C 0 9 B 67/52 B

C 0 9 B 67/52 C

C 0 9 B 48/00 B

C 0 9 B 67/20 L

C 0 9 D 11/00

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 7/12

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月6日(2007.11.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

顔料の光学的特性を改善する有機顔料の粒度絞りの方法であって、

(a)

i) 1種以上の粗製有機顔料10～60重量%、

ii) 水溶性スチレンコポリマー分散剤、粗製有機顔料の乾燥重量に対して0.1～25重量%、

iii) 場合により消泡剤0.1～1.0重量%、

iv) 場合により添加剤、粗製有機顔料の乾燥重量に対して0.1～5.0重量%、および

v) 水10重量%を超える量

を含む混合物をミリングし(成分i)、iii)およびv)の重量パーセントは、混合物の全重量に対する値である)、

(b) 有機顔料を分離する、方法。

【請求項2】

請求項1記載の方法によって調製された顔料組成物。

【請求項3】

粗製 - または - キナクリドン顔料結晶を、 または 結晶相を維持しながらの粒度
絞り方法であって、

2, 9 - ジクロロキナクリドンを含むミリング組成物を、粗製 - または - キナクリ
ドンと混ぜ合わせ、

2, 9 - ジクロロキナクリドンの重量%が、粗製 または 顔料の乾燥重量に対して 0
. 1 ~ 5 . 0 重量%であり、

- または - キナクリドンが所望の顔料粒度に達するまでミリングする、方法。

【請求項 4】

- または - キナクリドン顔料結晶を、 結晶相または 結晶相を維持しながらこれ
らの顔料の光学的特性を改善する粒度絞り方法であって、

(a)

i) - または - キナクリドンと共に、 - または - 顔料の乾燥重量に対して 0 .
1 ~ 5 . 0 重量%である 2, 9 - ジクロロキナクリドンを含む組成物 10 ~ 60 重量%、

i i) 水溶性スチレンコポリマー分散剤、 - または - キナクリドンと共に 2, 9 -
ジクロロキナクリドンを含む組成物の乾燥重量に対して 0 . 1 ~ 25 重量%、

i i i) 場合により消泡剤 0 . 1 ~ 1 . 0 重量%、

i v) 場合により添加剤、 - または - キナクリドンと共に 2, 9 - ジクロロキナク
リドンを含む組成物の乾燥重量に対して 0 . 1 ~ 5 . 0 重量%、および

v) 水 10 重量%を超える量

を含む混合物をミリングし (成分 i)、i i i) および v) の重量パーセントが、混合物
の全重量に対する値である)、

(b) - または - キナクリドン顔料結晶を分離する、方法。

【請求項 5】

請求項 3 記載の方法により粒度絞りされた - または - キナクリドンを組み込まれた
高分子量有機材料。

【請求項 6】

請求項 3 記載の方法により得られた粒度絞りされた - または - キナクリドンの有効
顔料量を組み込むことを含む、高分子量有機材料を着色する方法。

【請求項 7】

粒度絞り方法の間に - および / または - キナクリドンの および / または 結晶相
を保持する結晶相抑制剤としての 2, 9 - ジクロロキナクリドンの使用。